

## 海外安全対策情報 平成28年度第1四半期

### 1 社会・治安情勢

- (1) 4月12日、共和国議会前において、外国エージェント法に反対する10人規模の集会が開催された。
- (2) 4月16日、ジャララバード州トクトグール地区において、ウズン・アクマト金鉱山の開発中止を求める集会が開催された。
- (3) 4月20日、最高裁判所前において、タラス州の判事が職権乱用し、別事件の原告女性を強姦したことに對し、公平な裁判を求める数十人規模の集会が開催された。
- (4) 16日、共和国議会前において、人権活動家ら10人が憲法の遵守と大統領の退陣を求めるデモを行った。
- (5) 18日、国営テレビ・ラジオ協会前において、LGBTに関する討論番組の放送中止を求める数十人規模のデモが開催された。
- (6) 25日、米国大使館前において、「国民債務者権利保護運動」の200人規模の抗議デモが開催された。
- (7) 8日、国立銀行タラス支店前において、貸出金利の引き下げを求める60人規模の集会が実施された。
- (8) 28日、最高裁判所前において、2010年4月革命で有罪判決を受け、本年中に釈放される予定のヌルラン・トゥルスンクロフ元検事総長らに對して、更なる厳罰を求める数十人規模のデモが行われた。
- (9) 28日、ビシュケク市デミル銀行本店前において、市内の大型住宅地の共益費用口座契約を同行が破棄したことに抗議する数十人規模のデモが行われた。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

殺人、強盗等の凶悪事件が散見される他、空き巣、公共交通機関やバザールでのスリ、置き引き等の窃盗事件が日常的に発生し、銃器薬物関係犯罪の発生も多い。日本人は、路上強盗、窃盗、また官憲による賄賂の要求等に特に注意を要する。

#### (1) 殺人・強盗等、凶悪犯罪の一例

ア 4月9日、ビシュケク市イサノバ通りとチュイ大通りの交差点付近において、ロシア人男性が銃撃され負傷する事件が発生した。被疑者は使用した拳銃を現場に遺留し、逃走した。

イ 4月29日午前1時ころ、ビシュケク市アラメディンバザール付近において女性3人が刺殺される殺人事件が発生し、同日、警察が被疑者を

逮捕したと発表した。

ウ 4月29日、警察は、ビシュケク市において、強盗事件被疑者を逮捕し、被疑者の自宅から、マカロフ拳銃1丁、被害品とみられる貴金属、財布、携帯電話等を押収したと発表した。

エ 3月24日、チュイ州イシク・アタ地区において女性3人が殺害される殺人事件が発生し、5月12日、警察が強盗殺人容疑で未成年者3人を含む被疑者6人を逮捕したと発表した。

オ 5月7日午後8時ころ、ビシュケク市ボコンバエバ通りとネクラーフ通りの交差点付近において現金及び携帯電話を強奪する強盗事件が発生し、同日、警察が被疑者4人を逮捕した。被疑者らには他にも余罪があるとみられ、警察が現在捜査中である。

カ 5月13日午前5時40分ころ、ビシュケク市の住宅に4人組の男が押し入り、現金55,000ソム、テレビ1台、携帯電話4台、車の鍵及び自宅前に駐車してあった車を強奪して逃走した。同日、警察は被疑者2人を逮捕したと発表した。現在、警察は残りの被疑者2人の行方を追っている。

キ 5月15日午前5時30分ころ、ビシュケク市エレベソバ通りとフィルスフ通りの交差点付近において、現金300ソム及び携帯電話を強奪し、所持者の女性への強姦を試みる事件が発生した。同日、警察が被疑者2人を逮捕したと発表した。

ク 4月5日、ビシュケク市チュイ大通りとアルマティ通りの交差点付近において、歩行中の男性2人に対し、車に乗車中の被疑者が拳銃を発砲し、男性1人に重傷を負わせる事件が発生し、6月10日、警察が組織犯罪グループ「ジュマグローフ・グループ」構成員1人を逮捕したと発表した。

ケ 6月21日午前1時ころ、ビシュケク市内において、料金支払いのトラブルから口論となり、タクシー運転手が刺される殺人未遂事件が発生し、6月22日、警察が被疑者を逮捕したと発表した。

コ 6月4日午後11時ころ、チュイ州ソクルク地区において現金2,500ソム、不動産関係書類及び旅券を強奪する強盗事件が発生し、6月27日、警察が被疑者2人を逮捕したと発表した。

## (2) 邦人被害

認知していない。

## 3 テロ・爆弾事件発生状況

### (1) テロ事件

ア 2015年7月、オシュ州ノーカット地区の住民が妻と2人の子供と共にシリアへ移住したことが判明したと、4月26日、内務省が発表した。

イ 4月29日、バトケン州キジルキア市裁判所は、キルギス国民12人をシリアのテロリストグループに送り込んだ28歳のキルギス人被疑者に対し、懲役11年の刑を宣告した。

ウ 6月10日、キルギス国家安全保障委員会による、シリア戦闘地域に国際テロ組織の応募者を違法に派遣しているルートの判明及び防止作戦の結果、ビシュケク市において、1992年生まれの「J・F」及び1966年生まれの「A・B」を発見し、逮捕した。同委員会によると、上記の者たちはある近隣諸国において捜索中であり、本年2月に違法にキルギスの国境を横断したことが判明している。

エ 6月17日、国家安全保障委員会は、バトケン州において、国際テロ組織の構成員らを逮捕したと発表した。被疑者らは、テロリスト訓練に参加し、シリアにおいて政府軍に対する戦闘に参加したことが判明している。上記の者たちは、手製爆発装置及び銃器を使用して、キルギス国内の複数都市における同時多発テロ行為を実行するために、国際テロ組織の地下細胞を組織することを企図し、キルギスに帰国した。被疑者らの自宅を捜索した結果、弾倉が装着された自動小銃、F-1手榴弾、大量の銃弾、過激主義書籍、ジハード主義に関する内容が保存された様々な電子媒体が発見され、押収された。

## (2) 爆弾事件

認知していない。

## 4 誘拐・脅迫事件発生状況

### (1) 誘拐・脅迫犯罪の一例

ア 5月3日午後3時ころ、ビシュケク市において1歳6ヶ月の子供が誘拐され、5月4日、警察が被疑者を逮捕したと発表した。

イ 6月10日、警察は、ナリン州において、身代金目的で5歳の児童を誘拐した被疑者を逮捕したと発表した。

### (2) 邦人被害

認知していない。

## 5 日本企業の安全に関する諸問題

キルギスでは、1999年8月に南部バトケン州において、邦人4名等が過激派武装勢力により誘拐されており、注意を要する。(了)